

サムライが刀を磨く、
武芸を練るのは当たり前
それが学び続けるということ
だと思っております



軍師サムライ

大島 康義

中小企業診断士 9年

大阪府 大阪市

倒産の逆境から立ち直る

私は、老舗ホテルの三代目でした。ホテルは阪神大震災で壊滅的なダメージを受け、負債は年商の4倍にあたる100億円に。そんな状態で、親父から「お前に全部任せる」と言われ、いきなり400名の社員のトップになりました。27歳のときです。そこからが失敗の連続でした。海外の大学で学んだ経営の知識は全く役に立たず。自信は粉々に打ち砕かれました。その後、七転八倒の中で経営の本質に気付いていきましたが、35歳で力尽き、倒産させてしまったのです。

それから2年間、引き籠り生活を送りました。失意の中で残務整理をしながら、倒産関連の本を読み漁り、自分の失敗を、日々考え続けました。「大島君、もういい加減、過去を振り返るのはやめたら」と言われましたが、ここまで過去にこだわるのは、逆に意味があるのではないだろうか、この究極の体験と、そこで得られた様々な気づきを活かす道はないかと考えました。そして、ある時、「後継者支援をすることが自分の道だ!」と閃きました。私は「後継者」として頑張ったけれど、何をどう頑張ればいいのかポイントがわからなかった。周りに相談する人もなく、自分の立場を分かってもらえなかった。そして経営のことを共に考えてくれる人がいなかった。同じように悩んでいる後継者が多いのではないかと思い、資格も持たない中で、後継者支援・事業承継支援の仕事を始めたのです。

後援者支援の活動へ

そんなとき、「事業継承ドットコム」という事業承継支援の活動をしていた神崎充さん（現：一般社団法人軍師アカデミー）と再会しました。もともと大学のゼミの先輩後輩の間柄でしたが、別のキャリアを歩んだ二人が偶然にも同じテーマに取り組んでいるのに驚きました。当時、日本の社長の平均年齢は約57歳。事業承継が成功しないと企業の将来は無い。しかし、事業承継の考え方やノウハウは世の中で未だ確立していない分野。ここを二人で切り拓こうと共同研究を始めました。まずは、なぜ失敗し

たのか、なぜその行動をしたのか、しなかったのかの検証からスタート。そこから徐々に後継者の失敗の構造が見えてきたのです。次に、後継者の成功の原理原則と支援の方法の研究に取り掛かりました。そのために、中小企業診断士とCDA（キャリアカウンセラー）の資格を取得しつつ、経営と人の勉強を徹底的にやりました。

一般に事業承継は、親が主導するものと考えられています。しかし、「事業承継は後継者が主導するものであり、後継者自身が自らの意思と力でやっていくのが事業承継を成功させる核心だ」という考え方を打ち出し、「後継者の軍師」というユニット名で活動を開始したところ、ものすごい反響がありました。

この考え方を世の中に広めるため、「軍師」の育成と組織化に着手しました。いろいろな土業、専門分野の方々が仲間になってくださり、今では約250名の組織にまでなりました。「軍師」とは、専門分野に捉われず、後継者と同じ目線に立ち、経営を俯瞰して、企業の方向性を後継者とともに考え、企業を発展させる存在です。

事業承継という課題に取り組む

日本の経済を支えているのは、全体の99.7%を占める中小企業で、その多くが事業承継の時期を迎え、業績が低迷し、方向性に悩んでいます。このままでは日本の経済はガタガタになりかねません。

この国難に誰が立ち上がる、と聞かれたら、サムライしかないじゃないですか。国家資格として認められている土業こそが、現代のサムライです。その土業が国のために立ち上がらなくてどうするのか。

これだけ困っている中小企業と後継者がいるのです。この国難に立ち上がり、サムライとしての生き方をしようという志こそが大切だと思います。

ただし、私の考える本物のサムライとは、国がつくった資格の枠組みにすぎず、専門分野の枠の中だけで生きるのではなく、経営と人を俯瞰して、自らの生きる道を自らの信念で切り開く「生き方」を志す人です。私は、

そういった真のサムライを「軍師」と名づけ、そういった存在として生きていきたいと考えています。単なる専門家ではなく、「軍師」として経営者と一緒に山の頂に立って支援できる人を増やす。「軍師」こそが、中小企業、そして、これからの日本に必要なではないでしょうか。

自分で社会を作っていく生き方

人の生き方には大きく二種類あると思います。人と比べ、人に依存していく「水平の生き方」と、自らの宿命を受け入れ、運命を切り拓き、社会に貢献していく「垂直の生き方」。私は社会に何か残して死んで行きたい。そのためには、最低限、自分の武器を磨かなければならない。サムライが刀を磨き、武芸を練るのは当たり前じゃないですか。それが、資格取得を通過点として、広く、深く学び続けるということだと思うのです。それをせずに錆付かせて、止まってしまったら、何の役にも立たない。私は己の生命を燃焼させたい。自らも含めて、関わった人が成長し、周りの人にも良い影響を与えていく。私はそんな生き方をしたいと切に願っています。



Profile 大島 康義 (おおしま やすよし)

兵庫県出身 2005年中小企業診断士合格 2006年中小企業診断士登録。2006年CDA登録。株式会社後継者BC研究所代表取締役。一般社団法人軍師アカデミー専務理事(軍師会会長)。後継者支援・事業承継支援の第一人者。軍師事業を立ち上げ、現在は自らも専門家として活動する一方で、軍師認定保有者が集まる軍師会を会長としてリードする。

取得資格 中小企業診断士 / CDA(キャリアカウンセラー資格)

仕事の逸品

鞆

中身の取り出しやすさ、マチの広さやポケットの多さ等、自分にとって本当に使いやすい鞆で大量の書類を持ち歩くときや出張のときには重宝しています。現在は廃盤になっているので、修理をして大切に使い続けています。

